

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	メルシー中野		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年4月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年4月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	母体のスポーツクラブのインストラクターと連携し、全員参加が出来る運動プログラムを提供。定期的に母体のスポーツクラブ(テニスコート、フットサルコート、スタジオ、トレーニングルームetc)を使用して運動を行っている。また施設を利用している地域の子ども達とも交流する機会を設けている。	毎日小集団（全員）で行うプログラムがあり、固定化しないよう定期的にプログラム内容を変更している。また年齢の幅が広いので、他児との関わりを運動から習得できるように取り組んでいる。また年齢の高い子どもから年齢の低い子ども達に運動で学んだ事を伝えてもらい経験を積んでいる。	小集団で積み上げた成果が発表できる場を設け、子ども達の自信につなげていきたい。
2	毎日小集団（全員）で行うプログラムの前に、個別での日常生活の指導や訓練を実施している。（課題等を個々に用意）	保護者や子ども達と目標を立てながら、出来た喜びを自信につなげている。また個別で行う事で、その日の体調や気持ちに合わせて臨機応変に内容の変更もしている。	一度出来ても期間が空くと出来なくなる事もあり、繰り返し取り組む様にしている。
3	当日の様子を保護者に口頭で伝えられるよう、余裕を持った送迎体制を整えている。	連絡帳にて詳しくその日の様子を報告。またSNSでの情報発信を行っている。	気になることを気軽に話し合い、保護者と情報を共有しながら支援する体制を構築していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との交流また保護者同士での連携が少ない。	関係機関との情報共有機会が不定期になっている。また保護者同士で顔を合わせることがほとんどなく、保護者兄弟姉妹等が参加できるイベントも久しく開催出来ていない。	日頃から関係機関等の情報収集を行い共有する機会を設ける。また保護者会や、保護者兄弟姉妹等が参加できるようなイベントの開催等で交流する場を検討する。
2	地域社会との関わりが少ない。	コロナ禍以降、近隣施設と交流する機会が少なくなり以降改善出来ていない。	日頃からの関わりを大切にし、地域の方との交流を増やしていく場を検討していく。
3			